三郷市 Misato City

新種の桜「アトミザクラ」が寄贈され、市内の公園に植樹を行いました



植樹の様子

１０月２８日（水）、三郷市と相互協力に関する包括協定を締結している、跡見学園女子大学（文京区大塚、森まり子学長）から、新種の桜「アトミザクラ」の苗木２本が三郷市に寄贈され、同日、市内のインクルーシブ公園「インター南中央公園」（インター南２丁目）で植樹が行われました。

この桜は、60年前に亡くなった学生の遺族が寄贈した桜がルーツで、その中から早咲きで薄紅色の花がまとまって咲く桜が新品種として認定され、昨年の学園開学１５０周年を機に「アトミザクラ」と名付けられたものです。三郷市と跡見学園女子大学は、これまで公園整備や学生の就業体験などを通じて深い交流があり、この度、大学側から「公園の美化に」と寄贈の申し出があり、このたびの植樹が決まりました。植樹にはマネジメント学部の鳶咲子（がんさきこ）教授、赤松瑞枝（あかまつみずえ）准教授、学生３名が訪れ、植樹が行われました。



アトミザクラ（撮影＿田中秀明）

参加した学生の１人、堺（さかい）莉奏（りかな）さん（４年生）は「大学の１５０周年の記念に新種の桜を植えられ、光栄です。たくさんの花を咲かせてほしい」と目を輝かせていました。

＜この情報提供に関するお問い合わせ＞
三郷市まちづくり推進部みどり公園課管理係 TEL 048（930）7744
取材をご希望のかたは上記担当課までご連絡ください。

（２０２６／１０／３０三郷市提供）